

「ITと経営の融合：企業革新のための情報・経営戦略」

日時： 12月3日（金） 13時30分～17時30分

場所： 早稲田大学 大隈小講堂（300名定員）＜正門前の大隈講堂地下一階＞
<http://wasedabunka.jp/about/access> の「大隈記念講堂（時計台）」の地下一階です

主催：経営情報学会

協賛：早稲田大学 IT 戦略研究所

会費：無料

申し込みは右記 Web から：<http://bit.ly/cWoeoP>

----- プログラム -----

開会 （13：30）

基調講演 （13：40～14：20）

碓井 誠（フューチャーアーキテクト株式会社シニアフェロー、元セブン-イレブン・ジャパン CIO）
「サービス・イノベーションとCIOの役割（仮）」

休憩： 14：20～14：30

著者講演：25分×4名 （14：30～16：10）

* 経営情報学会編「CIOのための情報・経営戦略：ITと経営の融合」（中央経済社刊）の著者による講演です。

根来龍之（早稲田大学 教授） 「戦略と構築を架橋する役割としてのCIO」

松島桂樹（武蔵大学 教授） 「経営とIT投資の間に存在するギャップ」

三谷慶一郎（NTTデータ経営研究所 情報戦略コンサルティング本部長）

「見える化・共有化・柔軟化の実現」

淀川高喜（野村総合研究所 研究理事） 「アジャイルを実現するIT経営」

パネルディスカッション （16：10～17：10）

パネラー： 著者講演者の4名

閉会スピーチ： 17：10～17：30

國領二郎 経営情報学会会長（慶應義塾大学 教授）

閉会 （17：30）

経営情報学会

経営情報学会は、1992年4月1日に設立された、経営情報にかかわる諸問題の研究および応用を促進し、会員相互および関連する学協会との情報交換をはかるとともに、経営情報学の確立、産業の進歩発展に寄与することを目的とした学会である。

詳細情報：<http://www.jasmin.jp/>

講演者紹介



碓井誠（うすい・まこと）

セブン-イレブン・ジャパンにて SCM、DCM の全体領域の一体改革を推進。2000 年常務取締役システム本部長に就任。2004 年フューチャーアーキテクト取締役副社長、2010 年 3 月シニアフェローに就任（現職）。2010 年 4 月より芝浦工業大学専門職大学院教授、京都大学 経営管理大学院特別教授、早稲田大学ビジネススクール講師（兼任）。著書：『セブン-イレブン流 サービス・イノベーションの条件』（日経 BP 社）など



根来龍之（ねごろ・たつゆき）

2008-2009 年度経営情報学会会長。早稲田大学ビジネススクール教授（MBA/MOT プログラムディレクター）。早稲田大学 IT 戦略研究所所長。京都大学文学部卒業、慶應義塾大学ビジネススクール修了（MBA）、鉄鋼会社、英ハル大学客員研究員などを経て現職。著書：『代替品の戦略』（東洋経済新報社）、『デジタル時代の経営戦略』（編著、メディアセレクト）、『ERPとビジネス改革』（共著、日科技連出版社）など



松島桂樹（まつしま・けいじゅ）

武蔵大学経済学部教授。東京都立大学卒業、専修大学大学院博士課程修了（経営学博士）、日本 IBM などを経て現職。著書：『戦略的 IT 投資マネジメント』（白桃書房）、『IT 投資マネジメントの発展』（編著、白桃書房）など。



三谷慶一郎（みたに・けいいちろう）

㈱NTT データ経営研究所 パートナー・情報戦略コンサルティング本部長、日本システム監査人協会副会長。筑波大学大学院ビジネス科学研究科博士課程修了（博士（経営学））。著書：『CIOのITマネジメント』（共著、NTT 出版）など。



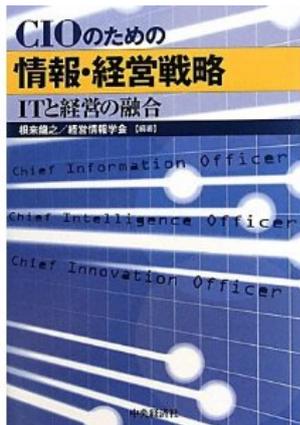
淀川高喜（よどがわ・こうき）

㈱野村総合研究所研究理事。京都大学理学部卒業、㈱野村総合研究所 IT マネジメントコンサルティング部長などを経て現職。著書：『強い企業をつくるビジネスイノベーション』（日経 BP）、『IT 人材再生戦略』（日経 BP）、『図解 CIO ハンドブック』（共著、日経 BP）など。



國領二郎（こくりょう・じろう）

経営情報学会会長。慶應義塾大学総合政策学部教授（学部長）。1982 年東京大学経済学部卒業。日本電信電話公社入社。1986 年ハーバード・ビジネス・スクール留学。1992 年同スクール経営学博士。著書：『オープン・ネットワーク経営』（日本経済新聞社、1995）、『オープン・アーキテクチャ戦略』（ダイヤモンド社、1999）、『オープン・ソリューション社会の構想』（日本経済新聞社、2004）など。



根来龍之・経営情報学会編著

『CIOのための情報・経営戦略: IT と経営の融合』

中央経済社、2010年7月刊

<http://amzn.to/9vGBS0>

ISBN 978-4-502-67820-2

税込 3780 円 (本体 3600 円)

CIOの三つのミッションを構築論 (IT) と戦略論 (経営) 論の融合の観点から詳説。

- ①Chief Intelligence Officer : 情報活用による経営戦略の創造。
- ②Chief Innovation Officer : 部門横断型のビジネスプロセス改革。
- ③Chief Information Officer : 企業あるいは企業グループ全体のIT政策の立案。

目次

本書に寄せて (平井淳生)

はじめに (根来龍之)

第1部 乖離から融合へ

第1章 構築論と戦略論を架橋する役割としてのCIO (根来龍之)

第2章 経営とIT投資の間に存在するギャップ (松島桂樹)

第3章 コーポレートと事業部門におけるITマネジメント機能 (歌代豊)

第2部 データをふまえた考察

第4章 組織IQとIT投資 (平野雅章)

第5章 「プロセス志向性」がIT経営に必要な三つの理由 (飯島淳一)

第6章 設計科学からみたIT経営の展開 (角埜恭央)

第3部 実践のための理論と事例

第7章 「仕組」と競争優位 (根来龍之・向正道)

第8章 見える化・共有化・柔軟化の実現 (三谷慶一郎)

第9章 アジャイルを実現するIT経営 (淀川高喜)

第4部 構築のための理論と事例

第10章 ビジネス組織の基盤構造としての情報システム (手島歩三)

第11章 IT経営と企業情報システムアーキテクチャ (南波幸雄)

第12章 IT経営とモデル駆動型アジャイル開発 (繁野高仁)

第13章 情報処理活動による情報システム投資評価 (向正道)